

第八十四回「本郷ふじやま公園古民家歴史部会」「古都鎌倉」歴史探訪

「Ⅸ」26年2月6日（木）栄区笠間の歴史探訪

（集合；大船駅南改札口9時50分厳守同時出発）

① 行程；バス移動大船南側バス停（笠間方面行きバス全線OK）→新橋・地藏堂・道標→水上祠→起立社御嶽山遥拝所→薬師如来石仏→皇大神宮→前立不動→法安寺→御蔵坂碑→青木神社→不動道標→上町石仏群→塞の神・馬頭観音→笠間中央公園遺跡→鹿島神社・バス停「岩井口」解散。

② 食事場所；大船駅前商店街「いろは茶屋」日替わり定食700円・焼魚定食700円野菜炒め定食700円。TEL；0467-44-4883

1・新橋（中の道長光寺裏山を小菅ヶ谷小学校裏の花立の尾根道を進み舞岡公園から日限山を経て柏尾、鶴ヶ峰方面への道だが、此处からは大道・貝殻坂・倉田・吉田を経て柏尾へ行く道）・地藏堂・庚申塔道標

○新橋；鎌倉古道中の道新道が出来て、新しく架けられた橋なのでこの名がと考えられる。

○地藏堂；延命地藏（造年不明笠間小菅ヶ谷境界に・8月26日地元地藏保存会管理）。

○庚申塔道標；造年元禄4年（1691）従是とつか道 左とつかみち 従是ぐミやうじ道 右□じ□とあり、奉造立庚申供養同行人と刻。

2・水神石祠

笠間町に笠松堰(せき)と飯島堰の二つがり、灌漑用水確保をしていたが、洪水などへの管理が困難で犠牲者も出ることがあり、霊を慰めると共に水神の怒りを静めるために祀られた。飯島にもあるそうです。

3・起立社御嶽山遥拝所（山岳信仰関連各所講碑や霊神碑・区内、笠間、上郷、公田3か所所在）

笠間小笹先々代、小笹養元は起立社の先達として活躍された。長崎大明神石碑が線刻画になっているのは珍しいと言う。不動明王が伴っている脇侍は制□迦童子(せいたか)、36童子の内の2童子。2童子を従える不動尊は、区内では上郷御嶽山・小菅ヶ谷春日神社・金井の御岳神社にあります。今泉称名寺（今泉不動）では36童子全て従えた大日如来の参拝ができる。

4・薬師如来石仏（明神下・寅年7薬師巡り）

小菅ヶ谷広地薬師・小菅ヶ谷長光寺・公田永林寺・飯島薬師堂・中野長慶寺・長沼正安寺・鍛冶ヶ谷正翁寺。

5・神明社（皇大神宮・祭神天照大神・石造り手洗・御影石鳥居・木像社殿が有志に

より石碑に建て替えられた)

6・前立不動(今泉への道標。宝永7年1710造立・昔中宿があった処)

7・法安寺(浄土宗・笠間山智光院・本尊阿弥陀如来左右勢至、観音三尊・木彫彩色弁財天一面八臂弓矢斧剣輪宝等武器戦いの神・寺宝爪彫観音石仏弘法大師が一夜にして爪彫りした十一面観音秘仏・鎌倉33ヶ所観音札所第15番札所)

文安年1445)徳阿智光了専開創。

8・御蔵坂碑(カウサ・坂途中に石塔と石碑造年不明・法安寺先左折坂道先に笠間村年貢納蔵があり、御蔵坂と言う)郷蔵(村蔵)・郷御蔵(藩蔵)御蔵屋敷(郷御蔵管理併設屋敷)御つくと藩の蔵。

9・青木神社(笠間鎮守・祭神手力雄命、伊弉諾命、伊弉冉尊・神事湯花神楽鎌倉鶴岡八幡宮で始められた)

小坂郷領主近藤出羽次郎清英建武年間(1335)建立と伝う。参道100段上に鎮座。

10・不動道標(青木神社石段下左折資生堂工場の間の道出た右手3基庚申塔、1基に九十九谷山中今泉不動明王之道是より1里右標と刻昔は表通りに有ったと言う)

11・上町石仏群(笠間中央公園下庚申塔、石仏等5基)

12・塞の神・馬頭観音裏宿辻(塞の神石碑と丸石多数・昔のサイト焼場所)

13・笠間中央公園

公園造成で遺跡発掘調査行われた。弥生住宅跡14軒、古墳時代が19軒、奈良時代11件他倉庫、土器、墓穴、火葬跡等発掘。更に鎌倉時代の幅10mの大規模道路?が発掘、水刷考慮した基礎工事がされた。概要現地説明版参照。

14・鹿島神社(田立ヲリヲ鎮守・祭神武甕槌ヲミカヅチ神・明治一村一社制度青木神社に合祀、昭和25年地域希望分社独立)

庚申塔(右);刻銘種子・阿弥陀如来・観音菩薩・姿勢菩薩・三猿は右から口(雄)耳(雄)目(雌雄)刻珍しい。庚申塔(中);刻銘種子阿弥陀如来仰相。手水鉢(享保19年1,734刻田立住11軒奉納者名現存旧家。

○参考;六地藏(鷹匠橋東(六道;地獄・餓鬼・畜生・主羅・人間・天上いずれにも現れ、煩惱を救い、願を叶えてくれると言う)

以上